とかち新聞
主筆 松山明
(発行所)北海道足寄郡足寄町　とかち新聞社　電話2551番
毎旬5の日発行　1部50円1カ月150円　1カ年前納1,500円

大型空港の調査

足寄と陸別に協力を求める

十勝総合開発促進期成会（会長飯島房芳士幌町長）では二十一日付で「新空港建設にかかる取進めについて」との文書で先に開催の臨時総会において標記にかかる場所の選定は当期成会正副会長並びに帯広市が協議し取進めることを一任されましたので、この度委託調査にあたり管内、市を含む各線別の六方面を概括的に調査することにしましたので、趣旨御理解の上よろしく御協力たまわりますようお願いしお知らせ致します

として、池北線では足寄と陸別の両町に協力を求めてきました。

これはすでに学校や住宅にとりかこまれて騒音公害の対象となつたうえにジエット機時代に即応して帯広空港の移転拡張に迫られたためで、候補地はできれば帯広市周辺三〇キロ以内にという計画でしたが近隣町村の協力が得られず全管内的にマトをひろげたものです

足寄町では一昨年十二月の町議会で小林町長から学園都市と高速自動車道に関連して道東の大型空港の候補地として名乗りをあげるのが是か非か議会の意志を確認したいともちかけたのにたいして町議会では特別委員会（矢野寛一委員長）を設けて札幌、千歳、東京などの関係方面を調査した結果、本年七月の定例議会に将来、北方圏との交流のなかで道東地区に大型空港が必要となつてくる、国などが経済調査など町内の事前調査を実施する場合はこれを拒むべきではないとして、消極的ながら調査受け入れ（誘致）の結論を報告して議会の意志を決定しています。

このために、帯広市がこれから九百万円をかけてコンサルタントによる管内六方面の調査によつて足寄が適地とされれば〃取り逃した〃形の高速自動車道分岐点の復活やら学園都市の誘致に決定的な影響をあたえるものとみて、この調査に大きな期待をかけています

学園都市と高速道路の視察報告

近藤、前寺委員ら

足寄町開発促進期成会では二十六日に文教厚生、運輸交通の合同委員会をひらいて、さきほど現地を視察した近藤悦朗委員から筑波学園都市について、前寺忠三郎委員から米原ジャンクション（分岐点）インターチエンジについての報告をうけましたが、その主な問題点はつぎのとおりです。

一、茨城県の六ヵ町村にまたがる筑波研究学園都市の中核となつた桜村は①首都圏に近い②自然に恵まれている③水資源が豊富④地震がすくない、との理由で村総面積の約四分の一を用地に買収され、一坪あたり

畑	一、二五〇円	
田	一、三〇〇円	
宅地	一、四〇〇円	
山林	一、一六〇円	

の価格（七年前）で、その後単価は修正せず各種補償で充足しており、この建設計画には県も町村も接触がなく〃招かざる客〃といつた感じで、したがつて開発事業費の負担区分が明確でなく、道路、下水道、公園学校などの公共施設は現行法では町村の負担になることで、特に本年は住宅公団が小学校と幼稚園を九億円で建て、村にたいして五年据置、二十年償還の議決を求めているが、年間予算規模五億円の村では到底負担はできないと議決していないとのことで、特別立法がなければ町村に負担が強いられるので事前に国や道の責任で実施するようにはたらきかけるべきで、桜村では毎月百人程度の転入があるが連帯感が乏しく、要求だけ多いが協力がすくなく流通関係ではいまのところ地元商業の入る余地はない

二、滋賀県の米原町は国鉄東海道本線と北陸本線との分岐点、国道八号線と二一号線との分岐点、さらに名神高速道路と北陸高速道路との分岐点で国鉄新幹線の県内唯一の停車駅という交通の要衝にありながらインターチエンジがないことで、名神高速道路が約一五キロにわたつて町内を通過しているものの、鉄道や国道など交通の利便に恵まれているのでインターの設置にはあまり積極的ではなかつたためだが、しかしインターが設置された彦根や栗原の地域は観光や企業誘致が活発になり隆盛のきざしがみえてきたところから、四十年に北陸高速道路の計画が決定して米原は分岐点だけでインターがないというので、インターのない高速道路は騒音などの公害だけでメリットがないと地域住民から反対運動がおきて町の要所々々に立看板が立てられたもので、町として運動体制を強化して要求を貫徹するために四十三年に条例による対策審議会を設置してことをすすめた結果、請願インターとして前記両地区より交通の要衝でさらに長浜、彦根両市とのほぼ中心にあり宅地造成によるベッドタウンの形成、松下電器などの工場誘致と関連して近隣の商業地域として発展しつつあり、町の総合交通体系を考えて路線とインターの位置を定めて、もつとも効果的に利用できるように建設省にはたらきかけるべきで、特に請願インターになると連絡とりつけ道路などは地元負担となるので整備計画のさい当局と充分協議すべきである

大野氏を道議に推薦

足寄町議会の自民党議員団

足寄町議会の自民党所属議員十七名による三翠会（新沼芳雄会長）では十二月一日に臨時総会をひらいて明後年に迫つた道議選対策を協議した結果、同会幹事長の大野耕太郎氏を次期候補に推薦することを決め、自民党足寄支部の同調が得られれば同支部を通じて本別、陸別、浦幌などの各支部の協力を得て自民党公認候補として必勝を期すことにしています。

大野氏は足寄生れの酪農家で三十二才、町議二期、現在、町議会産業副委員長自民党支部政調会長、自民党十勝連合青年部議長、十勝青年開発会議議長、勝農同志会副会長、十勝青年ジエットの会会長などの役職にあります。

早く消防体制の改善を

三町消防議会

池北三町消防事務組合の臨時議会は三十日に足寄町でひらき、給与改定にともなう七百七万四千円の追加補正予算を議決しましたがこのあと陸別町の早坂英一議員から『先日の議会で不備な点を早く直すように話し合つたが進展がみられない』との発言があつて小林管理者（町長）は『支庁からも指摘されており、団の幹部と話し合いする』とのことで、依然として事態は渋滞のままでした。

○…消防組織法によつて消防団は消防長または消防署長の所轄、命令によつて行動する、組合議員は公選されたもの、消防長は常勤がたてまえ、副管理者が三名もは不適当などの指摘。

○…三町の町長、議長、議員、消防団長など、代表的な人物が顔をそろえながらサッパリ是正されないことは技術的に困難といわれています。

かりに町としてやりくりができたとしても、道段階での設計変更―審議会―公示―認可までには相当の日時がかかるとのことで、容易なものではないようです

上足寄合同担当区事務所落成

足寄営林署の茂足寄、鳥取才一、才二の三担当区事務所を上足寄に集結しての合同事務所（住宅をふくめて）は総工費七百八十六万円で秋林建設によつて十五日に竣功したので、地元祝賀協賛会（鷲足賢会長）では二十四日に上足寄小学校体育館に町内外の来賓、関係者など百名を招いて落成祝賀会をひらきました。

はじめに服部足寄営林署長のあいさつ、金沢帯広営林局経理課長の工事報告、富田町助役、羽磨木材協会支部長の祝辞があつて、鷲足会長のあいさつで祝宴に入り、同校児童の器楽合奏や先生の奇術、婦人会の舞踊などもり沢山の余興もあり、新沼商工会長の音頭で万才三唱によつて散会しました。

清水さんに局から米寿のお祝い

足寄郵便局（石森勇局長）区内でことし八十八才の米寿を迎えた昭和の清水テルさんに郵政大臣からお祝いとして朱泥の湯呑茶腕がおくられ、このほど石森局長が清水さん宅へ伝達しました。

これは簡易保険創業五十三年、契約高十七兆円を記念して全国一斉に該当者におくられました。

西小新築の署名運動

西小学校の移転新築は足寄町の教育施設のなかで最大の県案事業として注目されていますが、町理事者側の態度がハッキリしないとして同校新築促進期成会（安久津義人会長）では目下校下全域にわたつて足寄神社横地帯を移転用地とすることの賛成署名運動を展開しています。

これは新築着手を促進させるとともに、六月の定例町議会において神社横地への陳情が不採択となつたので校下の意思を再確認して十二月の定例町議会にふたたび陳情して議会の採択を得るためとみられています

教育委員会（新津幸助委員長）では神社横地を最適地として、すでに青写真を町に提出して用地取得を求めていますが、問題の土地は本年四月に道知事が認可した都市計画運動公園のなかに喰い込むために、町としては現地測量をしてなんとか校下の希望に添うようにと図面を引き直して検討中ですが、いまのところはここへ小学校をもち込むこ

国のうちそと

★石油ショックは一挙にして使い捨て時代からもの不足時代へと場面転換―自由主義経済から統制経済へ自由民主党が不自由民主党になつて、いよいよもつて金持と物持だけがハバをきかすことになればイヤでも政治の転換は必至

★もともと国内で自給できるのは米と鶏卵と果物だけであとは全部輸入が頼りで資源のない国が経済大国ぶつて大量消費をつづけてきたかりそめの繁栄で、ひとつ石油ぐつまづけばあとはバタバタと玉突き交通渋滞と同じようにピンチの日本経済。

★教育施設や福祉施設はなかなかとのわないが、ホテルやマンションやキヤバレーはどしどし建てられていく―これが自由主義・

もの不足時代

資本主義経済の実態で、いつまでもこんな世の中でよいのかということ。

★それにしても、電力不足に拍車をかけるテレビのハレンチ番組に際限のないなかぎ〃と読みきれない大新聞の増頁に低俗な週刊紙のハンラン、木材不足を尻目に人家のない山のなかにも○○後援会連絡事務所の立看板、石油不足のさなかに田舎町の市街道路も道路というより駐車場―といつたこの現状では、むしろもの不足がクスリになること。

★これからは消費者が王様ではなく、大資本が政治のスポンサーではなく、ものを生産する労働者、技術者、農民、漁民が国の政治を支配する勢力になるのでなければならないこと。

新柄婚礼衣裳
きものと帯は
㊓久保呉服店
足寄町　T二一四八

おでん　はじめました
スナック　シャンブル
足寄町南一区　T　二四三九

お正月のお飾り
〆縄　舞玉　御神酒口　神棚幕　飾り物
十二月二十日から元足寄劇場前で「歳の市」
むとう野菜店　足寄町南一区　T　二七一二

カメラ　八ミリ　写真材料
上野カメラ堂
上野復興
足寄駅通り　T　二五一二

新畳　表替　中古畳　フスマ張替
二段ベッド
敷物一式
マットレス
小林畳店
小林幸三郎
足寄町大通り山口整骨院前　T二四二八

家具と建材
信用は最大のサービス
技術と納期を誇る！
家具　建具　製造販売
住宅内装に新建材を！
佐藤家具建材店
足寄駅前　電話二二二一番

技術に生きる！
ビクター
テレビ
ラジオ
レコード
ステレオ
―あらゆる電気器具―
有限会社
ミネ・デンキ
足寄駅三丁通り　T　2842